

海外工事監理人を紹介

サーチファーム・ジャパン

エグゼクティブ層の職業紹介や人材サーチ(スカウト)事業などを手掛けるサーチファーム・ジャパン(本社・東京都千代田区、武元康明社長)は、中国や東南アジアを始めとする海外で事業を展開する建設、不動産、住宅メーカーを対象に、工事監理者などの人材紹介を強化する。ことしに入って、リーマンショック以降減少していた海外事業のスカウト依頼が再度増えてきたことを受けて、サービスを強化することにした。2012年3月までに5社と契約し、同サービスで約4,000万円の売り上げを目指すという。

5社売上4千万円目標

スカウトは、同業他社からのヘッドハンティングで対応する。「限定的な人材を迅速に獲得する手段として、ヘッドハンティングの依頼が増してきた」(同社)とみている。日本だけでなく、中国やベトナム、タイなど連携企業のネットワークを活用し、現地の人材発掘も同時進行で迅速なスカウトを進める。

既に数社と進行中で、主に30代後半から40代の人材をターゲットにする。

同社によると、現地で働く専門知識やノウハウを備えた人材の引き合いが高まっており、「企業からは、海外で大型プロジェクトの経験があり、日本の建築士の資格を持つ語学が堪能な人材や、現地の工事会社を管理し工事を進めるため工事の進捗や建物の品質を管理し、日本と現地の間を取り持ちプロジェクトを進めることができる施工管理者が求められている」という。